

第 13 章 環境保全啓発事業・環境教育

1 環境保全啓発事業

(1) 環境月間

環境省では、環境基本法に定められた 6 月 5 日の「環境の日」を中心とする 1 ヶ月間を環境月間と定め、広く国民一般に環境活動への積極的な参加を普及啓発しています。本市においても、環境月間の趣旨を市民・事業所等に啓発するため、各種の事業を実施しています。

平成 30 年度の行事は、表 13-1(1)のとおりです。

表 13-1(1) 環境月間行事内容

(平成 30 年度)

事業名	内 容	場 所 等
街頭啓発活動	地球温暖化、ごみ減量化、不法投棄防止などの環境保全意識高揚を図るため街頭啓発を実施	市内店舗
広報いわき	環境月間の特集ページを掲載し、環境に優しい生活を紹介しました。	広報いわき6月号
その他の広報活動	市公式フェイスブックやラジオ等により環境保全の重要性を呼びかけました。	

(2) 再生可能エネルギー啓発事業

再生可能エネルギーについて理解を深めてもらうため、小中学生を対象とした副読本「みんなの再生可能エネルギータウン」の作成や出前講座「再生可能エネルギーって何？」の開催など、次世代を担う子供達をはじめ、市民への啓発事業を実施しています。



平成 30 年度作成副読本

2 環境教育・普及啓発の推進

(1) 環境アドバイザー派遣事業

本市では、環境に配慮したまちづくりを推進するため、自然とのふれあいや野外観察、健康な暮らし、緑化、省エネルギーや省資源の方法など、市民の皆様が自発的な環境保全活動に取り組むに当たって、参考となる知識を提供する「環境アドバイザー」を市内各地へ派遣しています。

平成23年度は東日本大震災の影響により事業を中止しておりましたが、平成24年度から事業を再開しました。

表 13-2(1)-1 環境アドバイザー派遣実績

年度	受講者数(人)	派遣回数(回)	派遣人数(人)
平成24年度	1,016	24	30
平成25年度	1,679	53	56
平成26年度	1,987	53	79
平成27年度	878	22	28
平成28年度	945	18	25
平成29年度	824	13	21
平成30年度	1,783	36	51

～環境アドバイザーの派遣申請等について～

市民のみなさまが市内において、参加者10人以上の環境に関する講演会や講習会、自然観察会を主催する場合、講師として「環境アドバイザー」を派遣しています。派遣を希望される方は開催予定日の30日前までに環境企画課までお申込みください。

また、「環境アドバイザー」として登録していただける方についても随時募集しておりますので、登録を希望される方は環境企画課までお問い合わせください。

【お申込みにあたって】

- ▼ 講師の謝礼・交通費は市が負担しますが、会場・資料など開催に必要な準備は主催者にてご用意ください。
- ▼ 講演内容等の具体的な事項は、主催者とアドバイザーにて協議していただきます。
- ▼ 政治、宗教、営利を目的とした講演会等への派遣はいたしません。

表 13-2(1)-2 環境アドバイザー派遣内容一覧

(令和元年10月31日現在)

分類	講演内容	講師氏名	
自然環境	小中学校での総合学習の支援・指導 環境学習の支援・指導 公民館等での自然に親しみ自然とふれあう活動 自然観察を通して環境を考える	草野 秀雄	
	里山の自然とヒトとの関わり 自然環境学習 ネイチャーゲーム指導	津崎 順 古川 眞智子	
	自然観察会・ 自然体験活動 指導等	鈴木 晴美 桂 伸夫	
	身近な自然の体験を通して、生き物の生態や生き物同士の関わり、更に人間の生活との繋がり、ひいては地球環境の諸問題を考え、学ぶ。 「人間の生活と自然環境のかかわり」に関する野外体験活動及びその支援 幼稚園、小学校での総合学習、環境学習の支援及び指導 ビオトープの創出・再生・保全の必要性の講演	佐藤 烈 猪村 珠紀 古口 英子 佐川 憲一	
	企画	佐川 憲一	
	水質調査	川・海の水質調査指導 平川 英人	
	環境教育	農業廃水路の環境教育 風力推進車 平川 英人	
	自然環境保全	自然環境全般 鈴木 信一	
	生活環境	水環境保全	水環境と生活との係わり 雨水の利活用 橋本 孝一
		生活環境	石けん、重曹、クエン酸、酸素系漂白剤を使った掃除・洗濯、合成洗剤との違い、安全性、環境保全等について 小学生向けに上ぐつ洗い、ブラックライトで蛍光増白剤の実験 廃棄物と3R 佐藤 君枝 鈴木 一
ごみ		生ごみ堆肥化方法のいろいろ(密閉容器、密閉式ビニール袋、段ボール箱、発泡スチロール箱等の方法を組み合わせ、庭・畑・プランターで利用) 家庭でできる生ごみの減量と有効利用(生ごみ堆肥化方法、EMIぼかし法、段ボール箱・トロ箱利用等) 先崎 久美子 武田 憲子 先崎 久美子 武田 憲子	
都市環境		省エネルギー・ 再生可能エネルギー 省エネ出前授業 節電・節水と省エネ診断事例 鈴木 一	
広域環境	地球温暖化問題と省エネルギー	鈴木 一	
	地球環境	人間社会による地球環境への影響について 小林 健四郎	

(2) 出前講座等

環境問題や公害防止に関して必要な知識の普及・啓発を図るため、市役所出前講座などに市職員を講師として派遣しています。平成30年度の実施状況は、表13-2(2)のとおりです。

表13-2(2) 出前講座等への講師派遣実績 (平成30年度)

事業名	目的	開催場所	参加者合計人数
再生可能エネルギーって何？	「再生可能エネルギーとは何か」「なぜ再生可能エネルギーが必要なのか」について学習します。	いわき市立四倉小学校 ほか1か所	105人
地球温暖化について考えよう	地球規模の深刻な問題である地球温暖化について、その仕組みや生活に対する影響などを学習する。	いわき市立四倉小学校 ほか1か所	105人
いわき市の環境“環境監視って何？”	大気、水質、騒音などの測定結果から、いわき市の環境の現況と環境保全への取り組みについて説明する。	いわき市立平第三小学校 ほか1か所	134人

(3) せせらぎスクール

福島県では、毎年、身近な水辺環境を見直し、水質保全への関心を一層高めるために、「水生生物による水質調査」の参加団体を『せせらぎスクール』として募集しています。

なお、本事業の概要は、次のとおりです。

- ① 対象 小・中学生、高校生、市民団体等
- ② 実施時期 4月～9月末
- ③ 活動内容

川底から採取した水生生物について、定められている30種類の指標生物に照らし、その種類と数により水質を判定します。

④ 教材の提供

参加団体には、福島県から調査に必要となる教材が提供されます。

(4) こどもエコクラブ

こどもエコクラブは、将来を担う子どもたちが主体的に行う環境保全活動や環境学習を支援するクラブです。事業概要は、次のとおりです。

- ① 対象 幼児、小・中学生、高校生
- ② 実施時期 通年
- ③ クラブの設立方法
 - 1人から登録可能
 - こどもエコクラブ全国事務局への登録手続き
 - サポーター（活動を補助する大人（連絡係））が1人以上
- ④ 教材の提供

活動のヒントとなる情報などが記載されたニュースレターや、指導者向けプログラム等の支援ツールが提供されます。

(5) 星空観察会(スターウォッチング)

星空観察会（スターウォッチング）は、星空の観察という身近な方法を通して大気環境保全についての意識高揚を図ることを目的に、毎年2回（夏期及び冬期）、いわき天文同好会との共催により実施している事業です。

平成30年度の実施状況は、表13-2(5)のとおりです。

表13-2(5) 星空観察会実施状況

場 所	参加者数
いわき市立高久公民館	70人(夏:28人 冬:42人)

(6) 緑のカーテンコンクール

市では、地球温暖化対策の一環として、ツル性の植物を建物の壁や窓の外側に覆わせ、日よけ効果や夏季の節電効果がある「緑のカーテン」の普及を図ることを目的に、緑のカーテンコンクールを開催しています。

家庭、店舗・事業所、学校の3つの部門で出来栄を競い、優れた取組を表彰し、緑のカーテンの取組として広く紹介しています。

本事業は平成25年度から開催しており、平成30年度は38件の応募がありました。



平成30年度 大賞作品

アルパイン株式会社 いわき事業所

(7) いわき子ども環境賞コンクール

本市では、子供達の環境保全に対する理解を深め、また、意識高揚を図ることを目的とし、市内の小中学生を対象とした環境保全をテーマとする標語を夏休みの課題として募集し、その作品を表彰・発表するもので、「いわき地域環境科学会」との共催により行っております。平成30年度の実施状況及び受賞作品は、表13-2(7)-1、2のとおりです。

表13-2(7)-1 第15回「いわき子ども環境賞」コンクールの実施状況

応募作品数	応募者数	応募学校数	受賞者数
458 作品	312 名	合計 12 校(小学校6校、中学校6校)	最優秀賞2、優秀賞6、佳作 10、計 18 件

表13-2(7)-2 第15回「いわき子ども環境賞」コンクール受賞作品一覧

	受賞作品	
最優秀賞	ごみひろい あせといっしょに ひかるまち	宮小 <small>わたなべ あきひと</small> 渡辺 明仁
	七浜の 麗し水辺 いつまでも	磐崎中 <small>やなぎさわ しゆん</small> 柳澤 諄
優秀賞	ごみひろい いいねがいっぱい うれしいね	中央台東小 <small>くどう</small> 工藤 そら
	のこそうよ いわきのみどり すんだ海	宮小 <small>つばい たいが</small> 坪井 大河
	ぼくも楽 ゴミの軽い日 うれしいな	泉北小 <small>よしだ ろうま</small> 吉田 朗真
	「省エネ」は 一人ひとりの 意識力	草野中 <small>よしだ あつや</small> 吉田 敦哉
	これからの 子孫へつなぐ エコリレー	藤間中 <small>ばば あやね</small> 馬場 綾音
	便利さを 見つめ直そう 未来のために	藤間中 <small>よしだ</small> 吉田 こはる
佳作	エコライフ 続けてストップ 温暖化	中央台東小 <small>みとも せいだ</small> 三友 誠大
	だいすきな うみのみどりと そらのいろ	中央台東小 <small>にいづま つむぎ</small> 新妻 紡
	ふやそうよ 地域のきれい みんなの笑顔	泉北小 <small>よこやま しき</small> 横山 心絆
	エコバッグ いつもいっしょに お買いもの	高坂小 <small>ましこ かいぞ</small> 増子 凱才
	ひと部屋で 過ごす憩いの 夕食後	平第一小 <small>わたなべ あやみ</small> 渡邊 絢心
	環境を 保つのではなく 育てよう	草野中 <small>ふるいち ふみや</small> 古市 郁哉
	大作戦 地球を守ろう ゴミダイエット	磐崎中 <small>すずき ゆうすけ</small> 鈴木 優輔
	青い海 緑の自然は いわきの宝	草野中 <small>さかもと なつき</small> 坂本 菜月
	比べよう 大事な地球と 便利な暮らし	藤間中 <small>あべ かのん</small> 阿部 花音
	リサイクル 繋がる思い 連鎖する	草野中 <small>くさの ほのか</small> 草野 穂楓

(敬称略)

(8) 野生生物生息生育状況調査（いわき市生き物調査）

本市では、生物多様性に関する理解や自然環境保全意識の向上を図るとともに、市内の野生生物の生息・生育状況を把握し、各種環境施策へ活用することを目的に、平成28年度より、市民参加型の生き物調査を行っています。

また、日ごろ、自然に触れる機会の少ない大人や小学生を対象として、自然観察に必要な知識を学んでもらい、実際の生き物調査に活かしてもらうため、親子自然探訪会を開催しています。

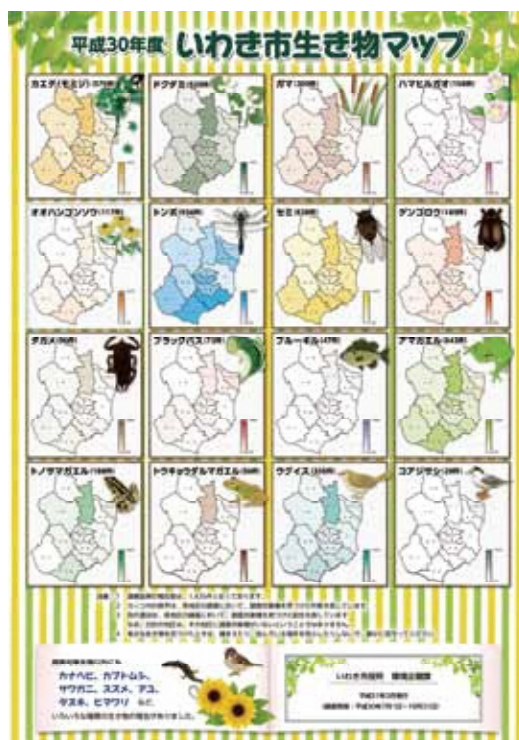
なお、平成30年度の実施状況は、次のとおりです。

表 13-2(8)-1 生き物調査実施状況

調査期間	調査対象種
7月1日～10月31日	16種類(カエデ、ドクダミ、ガマ、ハマヒルガオ、オオハンゴンソウ、トンボ、セミ、ゲンゴロウ、タガメ、ブラックバス、ブルーギル、アマガエル、トノサマガエル、トウキョウダルマガエル、ウグイス、コアジサシ)

表 13-2(8)-2 親子自然探訪会実施状況

場 所	参加者数
いわき市林業研修センター湯の岳山荘(夏)	24人
いわき市フラワーセンター(秋)	19人



平成30年度いわき市生き物マップ